

Doc.No : NR010524

2001年5月24日

本格的なCTP時代の到来に先駆けシリーズ最上位機種 のサーマルプレートレコーダー「PlateRite8600」を発売

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区/社長：石田 明)は、フルデジタル化が進む印刷工程に対応すべく、デジタルデータをレーザーで刷版に直接出力できるサーマルプレート*レコーダー「PlateRite 8600(プレートライト8600)」を開発、8月1日から販売します。

これは品質、生産性、安定性において国内外で高い評価を受けている「PlateRite 8000」、「同4000」など「PlateRite」シリーズの最上位機種CTP(Computer to Plate)の新開発の64チャンネルヘッド搭載で、1時間当たりプレート20枚(菊全サイズ、2400dpi時)の高生産性を実現、さらにGTOサイズから四六全判までと1台で幅広いプレートサイズをカバーし、印刷前処理に要する手間を省くことができます。

なお、本製品は、5月24日から開催される「JP2001情報・印刷産業展」(於：インテックス大阪)に出品、実演を行います。

*サーマルプレートとは、ハイパワーレーザーで描画する印刷版で、鮮明な網点の再現、高耐刷力、暗室が不要ということで注目を集め、印刷の品質向上や製版作業環境の改善が図れる。

< 販売価格(消費税別) >

4,900万円(本体のみ)

< 販売開始日 >

2001年8月1日

< 年間販売予定台数 >

360台



PlateRite8600

この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。
(<http://www.screen.co.jp/press/photo.html>)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

< 特長 >

1. サーマルプレートを用いて高生産性を実現
64チャンネル(830nmレーザーダイオード)の露光ヘッド、高速で回転可能な外面円筒方式を採用し、菊全サイズ(1,030×800mm)の刷版で1時間当たり20枚(2,400dpi時)出力可能。
2. GTO プレートサイズに対応
GTOサイズの500×370mmから1,160×940mmまでのプレートに対応し、版の厚さも0.15mmから0.3mmまでをカバー。オートバランス機構を内蔵し、プレートの大きさに合わせてドラムバランスを自動補正。
3. クランプサイズは最小8mmまで対応
オフセット輪転機をはじめとする多種多様の印刷機に対応するため、クランプサイズを最小8mmまで可能に。印刷前工程での版の取り扱いに要する手間を省き、印刷機の稼働率もアップ。もちろん、画像有効エリアも最大限まで活用可能。

< 仕様 >

型式名	: PT-R8600
記録方式	: 外面円筒走査方式
光源	: 830 nm 半導体レーザー64チャンネル
露光サイズ	: 最大1,160×924 mm、最小500×354 mm*
プレートタイプ	: サーマルタイプ
プレート厚さ	: 0.15 ~ 0.3 mm
分解能	: 1,200/2,000/2,400/4,000 dpi
機械的再現性	: ±5 μm**
生産性	: 20版/時、菊全サイズ(2,400 dpi)***
インターフェース	: Fast PIF
プレート供給	: セミオートローディング(標準) オートローディング(選択付属品)
パンチシステム	: スクリーン、ハイデルバッハ、プロトコル、コモリなど
外形寸法	: 2,420×1,295×1,285 mm
(幅×奥行×高さ)	
質量	: 1,150 kg
使用環境	: 23±2 (73.4±3.6 ℱ) 40~70 %RH
電源	: 単相200~230 V、5.0 kW 35 A(プロア含む)
アース	: 第三種接地(ブレーカーも必要)
選択付属品	: シングルカセットオートローダー マルチカセットオートローダー PS版搬送装置 パンチシステム 空調ユニット

* 12 mmクランプの場合、24 mmの未露光部。
8 mmクランプの場合、16 mmの未露光部。
8 mmクランプの場合、生産性は異なります。

** 1枚のプレートに連続4回露光(温度23℃、湿度60%)

*** 生産性はプレートの感度によって異なる場合があります。